

支 部 情 報

山 口 支 部

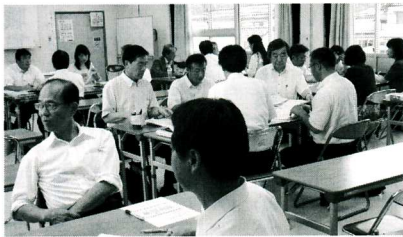
山口県らしさが出る 全連小山口大会の実現へ向けて

私は、この春に新任校長として山口市に着任したばかりの新参者である。縁あって本稿を任された。山口支部の様子を紹介するにはキャリア不足ではあるが、その目を通して感じることは、自主研修に見る支部全体の熱さ温かさとともに、来秋に控える全国大会の舞台裏を支えるマンパワーの素晴らしさである。

本支部は、市立三十四校と附属山口小・附属特別支援学校の計三十六校で構成されている。

本年度は、全国大会地元開催に向けて、そのお膝元ということもあり、その準備期間に充てるとともに、「学校運営上の諸課題」「時代のニーズに応じた課題や喫緊の課題」などについて、九名の研究部員が推進役となり自主課題に基づいた年間九回にわたる研修を計画・実践しているところである。

学力向上・危機管理・人材育成・学校経営構想など、課題に応じてグループ協議を取り入れたり、あるいは講師を招聘したりしながら内容の深化充実を図っている。



六月は、「学力向上と校長の役割」をテーマに、年二回の検証・改善サイクルの活用による学力向上、授業改善・授業力向上・研修実践を通しての学力向上、学習環境の整備や連携等による学力向上について協議し研修を深めた。七月は、昨年夏の大水災害により甚大な被害を受けた嘉年小学校の経験聞き、その陣頭指揮にあたった校長談をもとにグループに分かれて「組織で対応する学校の危機管理」について協議した。さらに、八月には、中国警備保障代表取締役社長 豊島貴子様をお招きし「これからの世界を生きてゆく私たちの課題」と題しての講演をいただいた。

月々の研修会のたびに校長会長から出される日程案内には、現場を任されている我々の連帯感を高めるメッセージが添えられており私はいつも楽しみにしている。自主研修や日々の交流を通し会員相互が絆を強め、全国大会の実現に向けて支部一丸となって舞台を支える：その気構え、心構え作りは着々と進んでいるように感じる。

(柚野木小学校 大田征和)

支 部 情 報

支 部 情 報

柳 井 支 部

地域に根ざした学校づくり

柳井市の教育目標「志を立て、夢を育む教育の推進」のもと、校長会では郷土の先人の知恵と伝統を継承し、学校・家庭・地域社会・関係機関が相互に連携を深めながら、地域に根ざした特色ある学校づくりに努めている。

柳井市小学校長会は十一校で構成され、年十一回の定例研修会をもっている。

十一回の研修会のうち、五回は各校持ち回りで開催され、会場校の特色ある学校経営の紹介を行っている。各学校の伝統や地域連携等、地域に根ざした学校運営の実態を知ることができ、自校の学校運営の参考になっている。その他に、県小教研や市教研からの報告や連絡事項の確認、学校運営上の諸課題について協議をしている。さらには、秋の県校長会研修会・中国大会・全国大会の発表に向けて「学校の教育力を向上させる研究・研修の推進」について研究を進めているところである。

また、本市は全ての小中学校に学校

運営協議会が設置されている。そこで、地域に根ざした特色ある学校づくりについて協議をし、各学校は様々な教育活動を行っている。その中で、二年前に再開校した平郡東小学校(児童数六名)は、極小規模校という特性を生かし、地域や家庭と深いつながりの中で教育活動を行っている。その代表的な二つの取組を紹介する。

一つ目は「地域参観日」である。年六回の開催で、地域住民に参観だけでなく、授業に参加して頂いている。児童との意見交換や児童と一緒にする表現活動、学習の評価等々、授業内容に応じた様々な活動を仕組んでいる。児童のコミュニケーション能力や表現力、学習意欲の向上に成果がみられるほか、地域住民が学校教育に関心をもち、地域を元気にする活動ともなっている。

二つ目は「学校応援団」の結成である。登録者には学校教育活動の指導や支援を依頼し、教育効果をあげている。この活動は児童の郷土愛も育んでいる。



(平郡東小学校 湊谷道彦)